

昌平 サッカーもV

高校県大会 浦和西降し2回目

▽決勝
昌平(2010)浦和西

第96回全国高校サッカー選手権大会(県サッカー協会など主催)の決勝が19日、さいたま市緑区の埼玉スタジアムであり、昌平が2-1で浦和西を降し、3年ぶり2回目の優勝を果たした。昌平は12月30日に東京・駒沢陸上競技場で開幕する全国大会に県代表として出場する。



3年ぶり2回目の優勝を果たし、スタンドの観衆に満面の笑みを見せる昌平の選手たち—さいたま市緑区の埼玉スタジアムで、橋本政明撮影

面校は6月の高校総体県予選決勝でも対戦し、昌平が4-1で浦和西を破っていた。試合は前半、44年ぶりの優勝を目指す浦和西が堅い守りを見せ、互いに無得点に終わった。

均衡が破れたのは後半13分。昌平のMF原田虹輝選手(2年)の右フリーキックをDF関根浩平選手(同)がヘディングで合わせて先制した。後半30分、浦和西はFW高橋岬生選手

(3年)が右足を振り抜き、同点に追いついた。その直後の後半31分、昌平はFW森田翔選手(2年)がドリブルで切り込んで左足でシュートを決めて勝ち越した。リードを守り抜いた。昌平の藤島崇之監督は「(女子)陸上部が都大路、ラグビー部が花園ということ、今度俺たちが」という気持ちで戦った」と喜びを語り、DF石井優輝主将(3年)は「目標は日本一。1試合に全てをかける気持ちで戦いたい」と意気込んだ。

【中川友希】